

## 8月22日以降の留萌沿岸

その後、留萌沿岸には多くの死体や積み荷などの品が流れ着きました。漁師たちはこの間漁をすることができませんでした。網を仕掛けるとそれに死体がかかったり、タコをあげると中から髪の毛が出てきたりと売り物にならなかつたからです。

鬼鹿の漁師たちは泰東丸が沈んでいるあたりでは、意識して漁をしなかつたということです。

第二号新興丸で九死に一生を得た人たちは、女性子供が多かつたのですが、一緒に乗船して自分たちの家族を必死に探しました。しかし、遺体に会えた人はまだ良いのですが、行方不明や誰か判明できない遺体などがあり、遺骨も受け取

ることができない方も多くいました。そして、  
連絡の取れた親戚等に随時引き取られていきました。  
た。



るもいこう つ だい ごうしんこうまる  
留萌港にたどり着いた第二号新興丸  
たかぎいさおし が  
(高木勲氏画)